

お手入れ

本体・液晶画面のお手入れ

- 本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロスでふいてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。(ケースや塗装が変質するおそれがあります)
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでもよくならない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店か、お近くの「サービス相談窓口」に相談してください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、時々ディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因になりますので使用しないでください。

メディアの取り扱い

■持ち方

記録面や端子面に触れないように持つ。



■ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布でふいたあと、乾いた布でふく。



- 回転する方向にふかないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しない。

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出す。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管する。

下記のようなディスクは使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因になります。

- 円形以外の特殊な形状のディスク (ハート形、三角形、カード型など)
- ラベルなどを貼り付けたディスク (シールやテープ、のりの付着、保護シートを貼ったものなど)
- 破損や変形、粗雑なディスク (反りや、ひび、キズ、バリがある)
- 透明なディスク (全体が透明、一部が透明)

SDメモリーカードでは下記のことをお守りください

- 貼られているラベルをはがさない。
- シールやラベルを重ねて貼り付けない。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

再生できるディスクについて

フォーマット	DVD-VIDEO	DVD-VR	CD-DA	MP3 ^{*3}	WMA ^{*3}
メディア					
DVD	○	×	×	×	×
DVD-R/RW ^{*1}	○	○	×	×	×
CD	×	×	○	×	×
CD-R/RW ^{*2}	×	×	○	○	○

- *1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
- *2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
- *3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceには対応していません。

- お願い**
- MP3/WMAは、CD-R/RWに書き込んだもののみ再生できます。(P.186「データ作成時の留意点」)
 - DVDは、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。(ディスクの説明書参照)

- お知らせ**
- DVDのカラオケ機能は、未対応です。

再生できないディスク

- 8 cmディスク(シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因になります。)
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVD
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたDVD
- AVCREC方式で録画されたDVD
- AVCHD方式で撮影したDVD
- CD-ROM(MP3、WMAを除く)
- CD-R(MP3、WMA、CD-DAを除く)
- CD-RW(MP3、WMA、CD-DAを除く)
- CDV
- DivX Videoディスク
- HD DVD-Video
- DVDオーディオ
- DVD+R
- DVD+RW
- DVD-Video、DVD-VR以外のデータを保存したDVD
- ファイナライズされていないDVD
- フォトCD再生するとディスクの内容が壊れる恐れがあります
- クローズセッションされていないCD
- dts-CD
- CD-EXTRA^{*4}
- BD-R
- HD DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVD-Video、DVD-VR以外のデータを保存したDVD
- ファイナライズされていないDVD
- フォトCD再生するとディスクの内容が壊れる恐れがあります
- クローズセッションされていないCD
- CD-G
- VSD
- BD-RE
- HD DVD-RAM
- ビデオCD
- CVD
- DualDisc^{*5}

- *4 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。
- *5 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

DVDビデオのリージョン番号について

本機のリージョン番号は、「2」です。ディスクに「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



DVD-R/RWディスクについて

片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

dts 音声収録されたDVDについて

- 本機はdtsに未対応です。必ずdts以外の音声で再生してください。(dtsを選んでも、音声出力されません)
- ディスクによっては、再生を止めて先頭から再生すると、自動的にdtsに切り換わり、音声がなくなったり、字幕の設定が変わる場合もあります。そのときは、手動でもとの設定に戻してください。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

CD-R/RWディスクについて

ディスクの使用上の注意書をよく読んでお読みください。

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いので、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。